様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 5 月 31 日

１ 事業名	保健委員会活動支援事業	コード	41203

２ 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	百瀬ひろみ

３ 事業概要	目的体系 基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	目的体系 政　策	保健・医療の充実	施　策	健康づくりの推進
	予算科目	保健委員事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし
	根拠法令	健康増進法		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		市民一人ひとりが健康への関心を高め健康づくりを実践していけるよう、地域で活動する保健委員連合会に対し活動負担金の助成を行うとともに、その活動や会の運営に対して支援を行った。
目的	対象者	岡谷市保健委員連合会・各地区保健委員会
目的	意　図	健康に対する関心を高め、自らが健康行動を実践するとともに、家族や地域にも健康意識を普及する。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

保健委員連合会・地区保健委員会・保健委員連合会OG会（八笑の会）の、活動計画の企画・立案や運営への協力・支援を行った。

１．保健委員連合会
　１）総会及び地区活動報告会（4月15日(金)　岡谷市役所９階大会議室　参加者76人）
　２）会議：役員会、理事会　（延回数　8回　延参加者数　99人）
　３）研修：保健事務嘱託員研修（ブロック別）　（延回数　17回　延参加者数　254人）
　４）長野県保健補導員会等連絡協議会
　　①諏訪支部
　　・会議：支部会（年3回）への出席
　　・研修：健康づくり体験研修への参加　（延回数　1回　延参加者数　33人）
　　②県：研究大会等研修会への参加　（延回数　2回　延参加者数　23人）
　５）その他：健康づくりのつどいへの参加等
２．各地区保健委員会
　延回数　256回　延参加者数　1,848人
３．保健委員連合会OG会(八笑の会)
　保健委員連合会事業（総会等）及び各種健康づくり事業への参加協力や、研修の実施。

前年度の課題への対応	理事会・役員会の開催については、適正な会議回数・時間の範囲での開催に努めた。また、会議回数の減少に伴う活動への影響がないよう、配布資料の工夫・情報交換の時間の確保等を行った。

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	保健委員会開催回数			単位　回
実績値	309	324	285	
＊指標の説明	保健委員会（理事会・役員会・地区委員会等）実施回数			
② 成果指標（指標名）				単位　人
目標値	2,004	2,142	2,331	2,354
実績値	2,296	2,433	2,333	
達成度	114.6%	113.6%	100.1%	
＊指標の説明	保健委員会（理事会・役員会・地区委員会等）参加者の合計			
＊目標値の設定方法の説明	過去３年間の平均人数			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	4,870,399	4,875,936	4,831,824	4,857,000
経常経費	4,870,399	4,875,936	4,831,824	4,857,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費	6,400,000	6,400,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数（人）	0.80	0.80	0.70	0.70
③ 合計コスト（①＋②）	11,270,399	11,275,936	10,431,824	10,457,000
前年度比		100.0%	92.5%	100.2%
財源内訳 一般財源	11,270,399	11,275,936	10,431,824	10,457,000
財源内訳 特定財源				
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	36,474	34,802	36,603	
前年度比		95.4%	105.2%	
⑤ コストに関する補足説明	保健委員連合会理事会・役員会の会議回数の削減、御柱年により地区保健委員会開催回数が例年より減等の理由によるものである。			

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　95.9%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　100.1%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） ・この数年、保健委員連合会活動の見直しを行い、活動による理事（地区保健委員会長）への負担軽減に努めているが、所属する区での役割との両立の大変さの声があがる。 ・地区保健委員会活動において、地区正副会長以外の委員の協力が得られない地区も出てきており、地区正副会長の負担が大きい。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・地区正副会長の負担を考慮した、効果的・効率的な保健委員連合会活動となるよう支援する。 ・保健委員になった方が、自分自身・家族・地域の健康に関心をもち地区での活動ができるよう、地区保健委員会で体験型の研修を取り入れる等、円滑に活動が行えるような提案を行う。	
	改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B